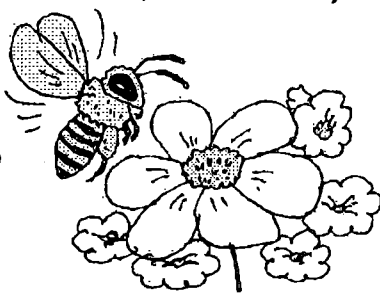


と仲々云えせん 覚識しはから清の心から行っている今日です  
又結果申し上げま。今日も云おう

# 父親から「ありがとう」



四月のテーマ

言葉の力

え・小島サエキチ

**都** 内で中学校の校長をしてい  
たY氏は、A中学校への赴  
任が決まりました。

その学校は荒れていて、まとも  
に授業ができる雰囲気ではありま  
せんでした。不登校の生徒にも、  
教師がきちんと対応していない状  
況でした。

山積する問題に、(大変な学校に  
赴任してしまった)と思つたY氏。  
実は、家庭の中にも問題が生じて  
いたのです。

家族は五人、妻とはほとんど会  
話がなく、年頃の子供たち三人と  
も、親子の会話らしい会話はあり  
ませんでした。

ある日、倫理を学んでいる知人  
とばったり出会い、講演会に誘わ  
れました。テーマは「よみがえる  
か家庭」というものでした。

家庭の不和を抱えていたY氏は、  
講演会に参加しました。参考にな  
ることはいくつもありましたが、  
その中でも、『ありがとう』の力  
という話が印象に残りました。

家に帰ると、妻から「〇〇さん  
から電話があつた」とつつけんど

んに言われました。いつもなら、  
「うん」や「ああ」と返すところ  
です。Y氏は講演を思い出し、「あ  
りがとう」と返事をしました。

食事の時も、「取り皿をくれるか  
い?」「はい」「ありがとう」。「お  
醤油とつて」「どうぞ」「ありがと  
う」と、必ず添えるようにしたY  
氏。たつた一言ですが、この日か  
ら夫婦の関係に変化が生まれました。  
少しずつ夫婦の会話が増えてきた  
のです。

それまでは一方的な言葉の投げ  
かけだったのが、「ありがとう」と  
受け止めることで、夫婦の心の距  
離が縮まったのかもしれない。  
次第に妻の表情が明るくなり、子  
供たちにも、笑顔が多くなつてき  
ました。

もしY氏が、講演の後、「今日は  
良い話を聞いたぞ。これから『あ  
りがとう』と言えよ」と家族に押  
しつけていたら、どうなつていた  
でしょう。会話どころか、家庭の  
雰囲気はますます暗く、ギスギス  
したものになつていたはずだ。  
良い話を聞いて、それを実際に

実践したところから、家族に変化  
が生まれました。そして、父親の  
言葉一つが、家族を大きく変える  
ことに驚いたY氏でした。

Y氏が赴任した中学校の雰囲気  
も、薄皮をはがすように変化して  
いきました。赴任当時は(どうし  
たら子供たちが変わるか)と考え  
ていたY氏ですが、(まずわれわれ  
教師が変わらなければいけない)  
と、毎週、職員会議を開くように  
しました。また、不登校の生徒の  
家には、Y氏自ら足を運んで声を  
かけるようにしました。

ほかの先生も、根気よく生徒の  
話を聞き、アドバイスを送るよう  
になりました。翌年、三年生全員  
が進学や就職を決めて、無事卒業  
式を迎えることができました。

言葉の力は存外に大きいもので  
す。また、発する人の立場によつ  
て、その影響力は変わります。  
特に家庭や職場で上の立場の人  
が発する言葉には、場を一変させ  
るほどの力があります。プラスの  
言葉で、家庭や職場を明るくす  
るようになりたいものです。